

元MRI画像・処理結果ファイルの 個人情報の削除方法

個人情報とは？

「個人情報」とは、個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述などによって特定の個人を識別できるもの(他の情報と容易に照合することができ、それによって特定の個人を識別することができることとなるものを含む。)をいう。

⇒元MRI画像(DICOM)、処理結果ファイル(plus:ANALYZE、advance:NIfTI)に当てはめると、最低限以下2項目は削除する必要がある。

- ・お名前

- ・患者ID(施設名と照合することで個人が特定できるため)

ただし、お名前、患者ID以外にも上記定義に該当する項目がある場合は削除する必要がある。

※ご不明点は、サポートセンター(systemhelp@vsrad.jp)までお問い合わせください。

1. 1-1.個人情報の削除方法(DICOM)
- 1-2.個人情報の削除方法(処理結果ファイル)
2. Data Remover for VSRAD
 - 2-1.Data Remover for VSRAD(ご利用注意点)
 - 2-2.Data Remover for VSRAD(ファイル読込方法)
 - 2-3.Data Remover for VSRAD(削除項目指定)
 - 2-4.Data Remover for VSRAD(削除項目指定方法1)
 - 2-5.Data Remover for VSRAD(削除項目指定方法2)
 - 2-6.Data Remover for VSRAD(削除項目確認方法)
 - 2-7.Data Remover for VSRAD(削除結果確認)
 - 2-8.個人情報が削除されたファイルの所在
 - 2-9.VSRADにおける削除確認方法
3. 処理結果ファイルの所在確認方法と個人情報削除方法について

1-1. 個人情報削除方法:元MRI画像(DICOM形式)

DICOM形式の画像は個人情報ヘッダー領域に記録されており、枚数も多く削除が容易でないため、個人情報削除・書き換え、ファイル名変更などが簡便にできるアプリケーション「Data Remover for VSRAD」をご用意しております。個人情報以外のヘッダー領域の情報(MRIの一部撮像条件等)は削除されません。

「Data Remover for VSRAD」は下記よりダウンロードいただけます。

http://www.vsrad.info/general/up_date/detail/110602_01.html

※インストールパスワードはサポートセンターまでお問い合わせください。

⇒Data Remover for VSRADの詳しい説明は「2. Data Remover for VSRAD」をご参照ください。

1-2. 個人情報削除方法:処理結果ファイル(1)

VSRADで出力された画像ファイルは、「**plusの被検者脳表示のZスコアマップ**」、「**advanceのVSRファイル**」を除き、画像情報から個人情報を容易に分離することができ、分離された画像情報はそれぞれ単独で表示することができます。

入力画像の位置づけで使用する場合(ファイル変換直後の画像)

- ① 処理済画像が出力されたワークフォルダを選択します
- ② ファイル名の先頭が「_」(アンダースコア)で始まる同名ファイルで、ファイル名の拡張子が「img」、「hdr」、「xml」(advanceは「nii」、「xml」、「vsr」)で異なる3つのファイル形式があることを確認します(*1)
- ③ 拡張子が「**img**」、「**hdr**」の**2つのファイルのみ**(advanceは「**niiファイル**」のみ)を別のフォルダにコピーします。
- ④ **ファイル名に被検者の名前などの個人情報が含まれる場合は**、ファイル名を変更して下さい。このとき、「img」、「hdr」の2ファイルの拡張子を除いたファイル名が同じになるようにして下さい。

*1:ファイルの拡張子が表示されない場合は、エクスプローラーのメニューから[ツール]→[フォルダオプション]の[表示]タブの詳細設定において、「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外して下さい。

⇒詳しい説明は「3. 処理結果ファイルの所在確認方法と個人情報削除方法について」をご参照ください。

1-2. 個人情報削除方法:処理結果ファイル(2)

全ての処理結果ファイルから個人情報を削除したい場合。

- ①処理済画像が出力されたワークフォルダを選択します
- ②ファイル名の拡張子が「img」、「hdr」、「xml」(advanceは「nii」、「xml」、「vsr」)で異なる3つのファイル形式があることを確認します(*1)
- ③拡張子が「img」、「hdr」(advanceは「niiファイル」と「vsrファイル」)の2つのファイルのみ)を別のフォルダにコピーします。

ただし、plus版では被検者脳表示のZスコアマップファイル(ファイル名の最後に「_Z_uw」または「_Z_ulw」が含まれるファイル)は、拡張子が「img」「hdr」となっている場合でも個人情報が含まれるため、送らないでください。

- ④ファイル名に被検者の名前などの個人情報が含まれる場合は、ファイル名を変更して下さい。このとき、「img」、「hdr」の2ファイルの拡張子を除いたファイル名が同じになるようにして下さい。

★ファイル名を変更する場合、advanceでは「vsr」ファイルにファイル名の記載があるため、その部分の修正も必要です(次ページをご参照)。

*1:ファイルの拡張子が表示されない場合は、エクスプローラーのメニューから[ツール]→[フォルダオプション]の[表示]タブの詳細設定において、「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外して下さい。

⇒詳しい説明は「3. 処理結果ファイルの所在確認方法と個人情報削除方法について」をご参照ください。

1-2. 個人情報削除方法:処理結果ファイル(3)

「vsr」ファイルのファイル名記載部分。

「nii」ファイルの名称を変更した場合は、「vsr」ファイル内のファイル名記載部分(下記赤字部分)も修正が必要です。

※この例では「sample__normal_001」がファイル名です。

```
<?xml version="1.0"?>
<process_result_information>
<application_name>VSRAD</application_name>
<application_version>4.30.0003</application_version>
<process_result_information_version>4.31.0</process_result_information_version>
<workflow_name>VSRAD advance フロー</workflow_name>
<normal_db_gm_folder>C:\Program Files\MSRAD\advance_rtm\normal\musashiDB_for_vsrاد_advance\gray</normal_db_gm_folder>
<normal_db_gm_group_name>GM 武蔵病院DB for VSRAD advance</normal_db_gm_group_name>
<control_gm>GM 54~86歳男女(80例)</control_gm>
<normal_db_wm_folder>C:\Program Files\MSRAD\advance_rtm\normal\musashiDB_for_vsrاد_advance\white</normal_db_wm_folder>
<normal_db_wm_group_name>WM 武蔵病院DB for VSRAD advance</normal_db_wm_group_name>
<control_wm>WM 54~86歳男女(80例)</control_wm>
<zscore_normal_coordinate_gm_relative_filename>zrsmwc1hli_sample_normal_001.nii</zscore_normal_coordinate_gm_relative_filename>
<zscore_normal_coordinate_wm_relative_filename>zrsmwc2hli_sample_normal_001.nii</zscore_normal_coordinate_wm_relative_filename>
<zscore_subject_coordinate_gm_relative_filename>bzrsmwc1hli_sample_normal_001.nii</zscore_subject_coordinate_gm_relative_filename>
<zscore_subject_coordinate_wm_relative_filename>bzrsmwc2hli_sample_normal_001.nii</zscore_subject_coordinate_wm_relative_filename>
<zscore_normal_coordinate_gm_absolute_filename>zasmwc1hli_sample_normal_001.nii</zscore_normal_coordinate_gm_absolute_filename>
<zscore_normal_coordinate_wm_absolute_filename>zasmwc2hli_sample_normal_001.nii</zscore_normal_coordinate_wm_absolute_filename>
<zscore_subject_coordinate_gm_absolute_filename>bzasmwc1hli_sample_normal_001.nii</zscore_subject_coordinate_gm_absolute_filename>
<zscore_subject_coordinate_wm_absolute_filename>bzasmwc2hli_sample_normal_001.nii</zscore_subject_coordinate_wm_absolute_filename>
<zscore_subject_coordinate_original_filename>i_sample_normal_001.nii</zscore_subject_coordinate_original_filename>
<segment_gm_filename>c1hli_sample_normal_001.nii</segment_gm_filename>
<normalize_filename>smwc1hli_sample_normal_001.nii</normalize_filename>
<report_filename>bzrsmwc1hli_sample_normal_001_report.xml</report_filename>
</process_result_information>
```

2. Data Remover for VSRAD

- Data Remover for VSRAD とは
VSRADで使用するためのDICOMファイルから個人情報を削除するためのツールです。
 - ・DICOMタグに記録された情報の削除
 - ・DICOMファイル名の匿名化が行えます。

2-1. Data Remover for VSRAD(ご利用注意点)

■ DataRemoverをご利用の際は、下記の点にご注意ください

□ DICOMタグの削除について

全て削除した場合、VSRADで読み込むことはできません

DataRemoverでは、1シリーズ(1回の撮像で撮像した画像で同じシリーズであるもののかたまり)ごとに、削除したいDICOMタグを指定することが可能です。この際に全てのタグを削除してしまうと、VSRADで読み込む際に必須としているタグまで削除してしまい、VSRADでの読み込みが不可となってしまいます。そのため、タグの削除指定を行う際には、個人情報に関連していると判断できるタグのみ削除していただくことをお勧めします。

□ 削除項目として初期設定で設定されている項目について

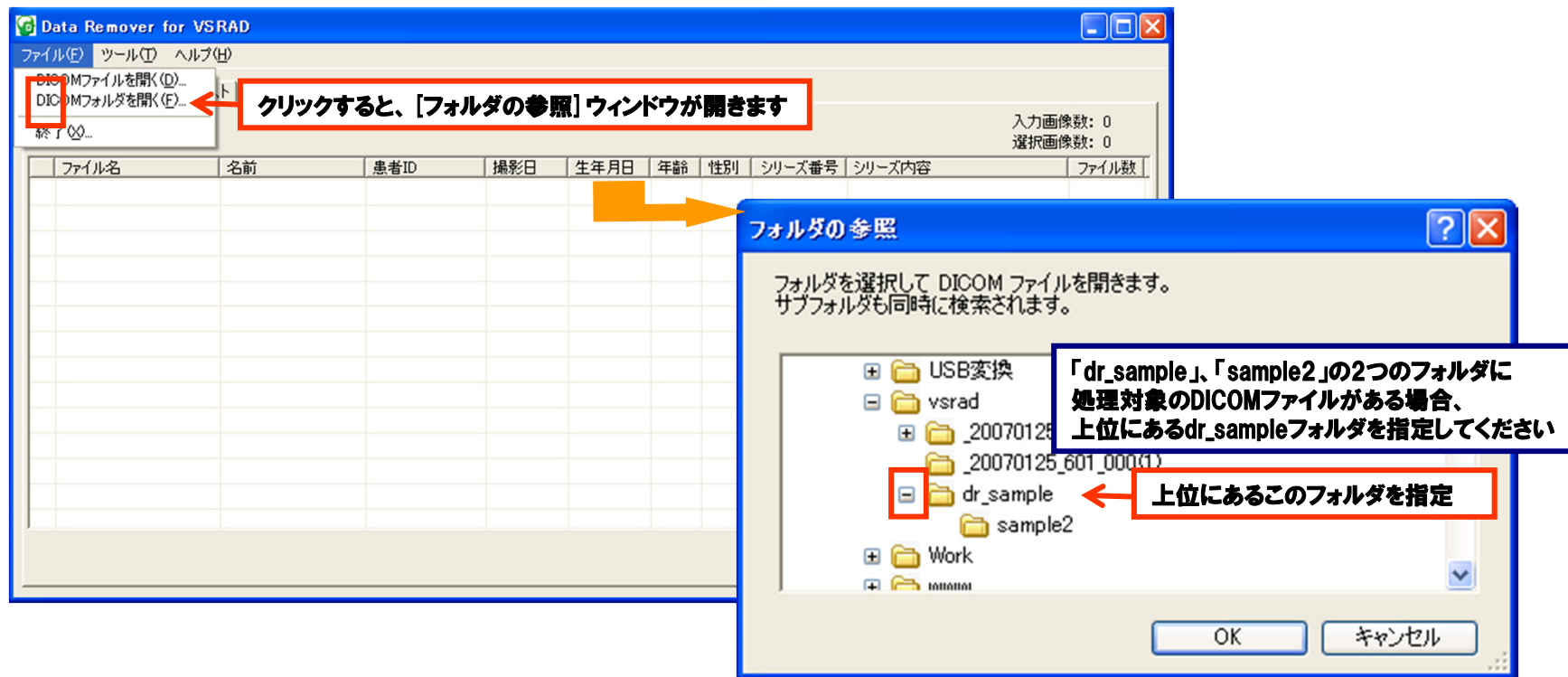
DataRemoverでは、下記5項目を初期設定で削除項目として設定しております。

- 名前(PatientsName)
- 患者ID (PatientID)
- 受付番号(AccessionNumber)
- 撮影日(StudyDate)
- 生年月日(PatientsBirthDate)

これは、あるスタディでのDICOMから個人情報削除する際のポリシーに準じたうえ、追加で削除したほうがよいと考えられる項目を加えております。施設ごとにはポリシーが異なると思われるので、念のため削除項目をご確認いただくことをお勧めします。

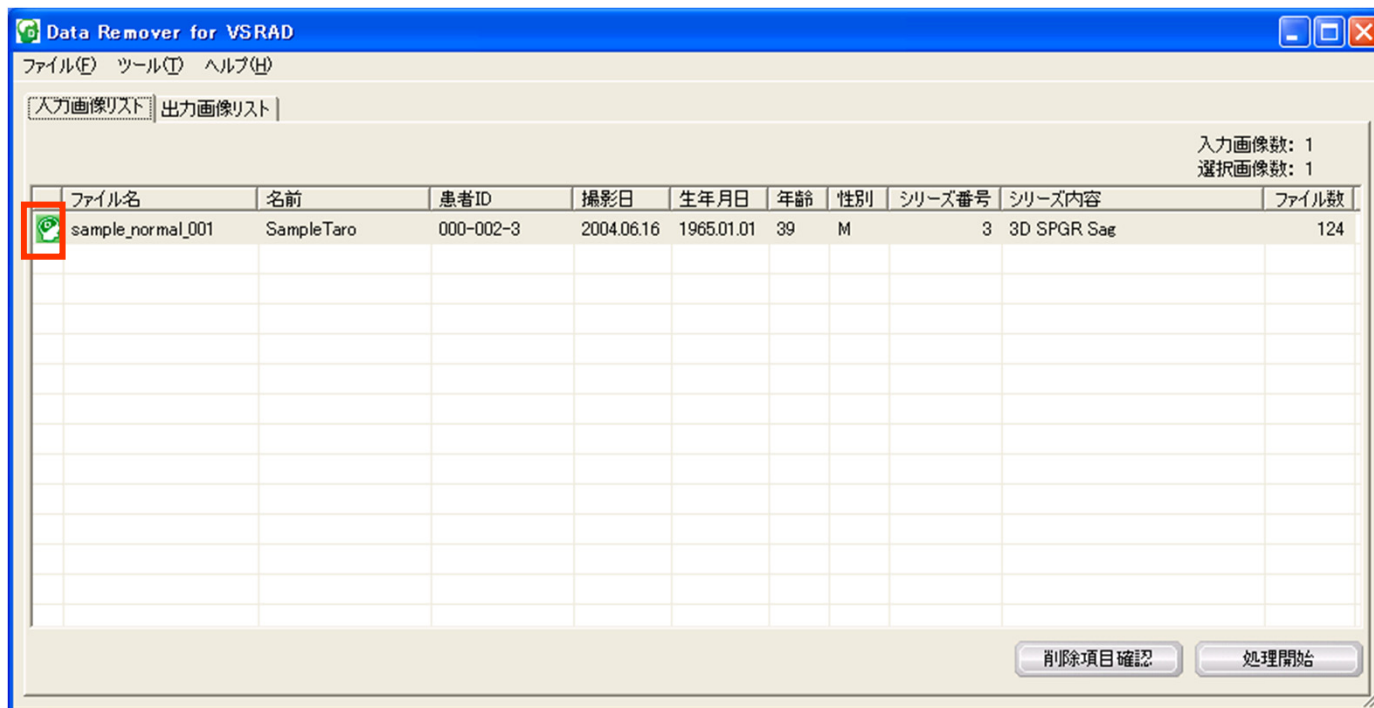
2-2. Data Remover for VSRAD(ファイル読込方法)

- 個人情報削除したいDICOMファイルを指定し、Data Removerに読込ます。その際、ファイルまたはフォルダの指定ができますが、**基本的にはフォルダ指定**を利用し、**DICOMファイルが入っているフォルダの中で一番上位のフォルダを指定してください。**



2-2. Data Remover for VSRAD(ファイル読込方法)

- DICOMファイルを読み込むと、【入力画像リスト】タブに読み込んだファイルがシリーズごとに表示されます。
※例は、DICOMファイルを1シリーズのみ取り込んだものです



← 読み込んだ
DICOMファイル

2-3. Data Remover for VSRAD(削除項目指定)

■ 削除項目の指定方法は、2種類の方法あります。

□ 方法1:メニューバーの [ツール] → [削除項目設定] で削除項目を設定

■ 削除項目設定ウィンドウでの設定

ここで設定した削除項目は、設定後に読み込むシリーズに反映されます。すでに読み込んでいるファイルに適用することも可能です。設定項目が日本語で表示されており、また、必須項目も表示されていないことから、ここでの設定が一番わかりやすいと思われます。ただし、ここには表示されていないタグがありますので、この項目のみではポリシーに問題がある場合は、もう少し詳細な設定を行っていただくことを推奨いたします。

■ [削除項目設定ウィンドウ] → [詳細設定] で設定

詳細設定では、DICOM辞書に含まれるタグすべてに対し、削除設定を行うことが可能です。また、メーカー独自で利用しているタグを追加することも可能です。

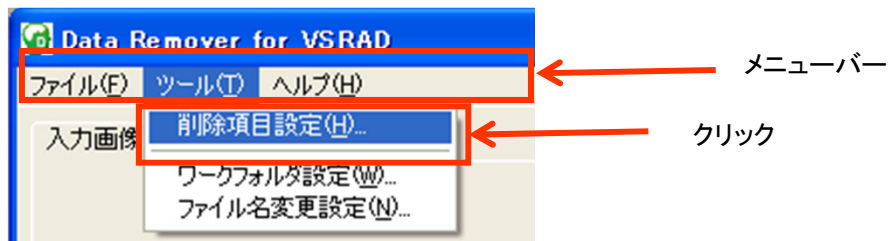
□ 方法2:読み込んだシリーズを右クリックして表示される項目から、[削除項目確認] をクリックし、削除項目確認ウィンドウで削除項目を設定

■ ここで表示される削除項目は、そのシリーズに含まれているDICOMタグ全てです。1シリーズごとに個別の設定をすることも、設定した内容をその時点で読み込んでいるすべてのシリーズに反映させることも可能です。また、削除項目設定ウィンドウに反映させることも可能です。

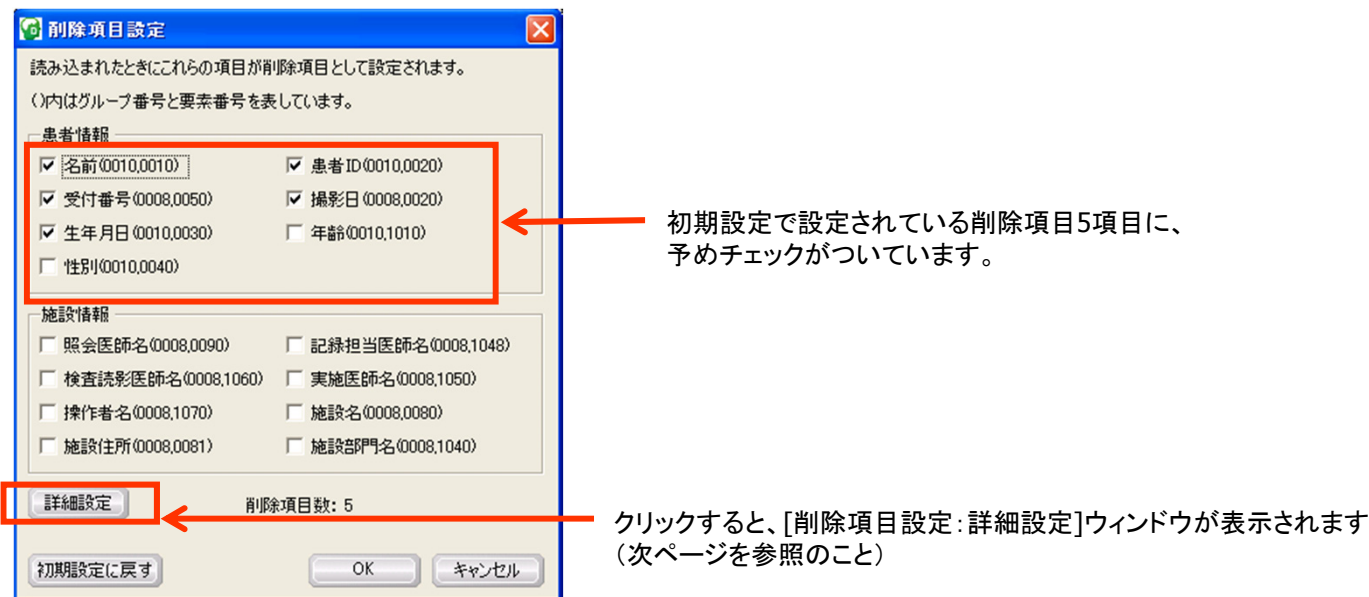
2-4. Data Remover for VSRAD(削除項目指定方法1)

- メニューバーの [ツール] → [削除項目設定] を選択し、削除項目を設定します。ここに表示されているものは、VSRADで読み込む際に必須となるタグは省かれています。

① [ツール] → [削除項目設定] をクリックします。



② クリックすると、下記 [削除項目設定] ウィンドウが表示されます。



2-4. Data Remover for VSRAD(削除項目指定方法1)

- ③ [削除項目設定] ウィンドウで、[詳細設定] をクリックすると、[削除項目設定: 詳細設定ウィンドウ] が表示されます

削除項目設定

読み込まれたときにこれらの項目が削除項目として設定されます。
()内はグループ番号と要素番号を表しています。

患者情報

名前(0010,0010) 患者ID(0010,0020)
 受付番号(0008,0050) 撮影日(0008,0020)
 生年月日(0010,0030) 年齢(0010,1010)
 性別(0010,0040)

施設情報

照会医師名(0008,0090) 記録担当医師名(0008,1048)
 検査読影医師名(0008,1060) 実施医師名(0008,1050)
 操作者名(0008,1070) 施設名(0008,0080)
 施設住所(0008,0081) 施設部門名(0008,1040)

詳細設定 削除項目数: 5

初期設定に戻す OK キャンセル

クリック

削除項目設定: 詳細設定

項目の追加
グループ番号 要素番号 追加

	グループ番号	要素番号	項目名
<input type="checkbox"/>	0002	0000	GroupLength
<input type="checkbox"/>	0002	0001	FileMetaInformationVersion
<input type="checkbox"/>	0002	0002	MediaStorageSOPClassUID
<input type="checkbox"/>	0002	0003	MediaStorageSOPInstanceUID
<input type="checkbox"/>	0002	0010	TransferSyntaxUID
<input type="checkbox"/>	0002	0012	ImplementationClassUID
<input type="checkbox"/>	0002	0013	ImplementationVersionName
<input type="checkbox"/>	0002	0016	SourceApplicationEntityTitle
<input type="checkbox"/>	0002	0100	PrivateInformationCreatorUID
<input type="checkbox"/>	0002	0102	PrivateInformation
<input type="checkbox"/>	0004	0000	GroupLength
<input type="checkbox"/>	0004	1130	FilesetID
<input type="checkbox"/>	0004	1141	FilesetDescriptorFileID
<input type="checkbox"/>	0004	1142	SpecificCharacterSetOfFilesetDescriptorFile
<input type="checkbox"/>	0004	1200	OffsetoftheFirstDirectoryRecordoftheRootDirectoryEntity
<input type="checkbox"/>	0004	1202	OffsetoftheLastDirectoryRecordoftheRootDirectoryEntity
<input type="checkbox"/>	0004	1212	FilesetConsistencyFlag
<input type="checkbox"/>	0004	1220	DirectoryRecordSequence
<input type="checkbox"/>	0004	1400	OffsetoftheNextDirectoryRecord
<input type="checkbox"/>	0004	1410	RecordInuseFlag
<input type="checkbox"/>	0004	1420	OffsetofReferencedLowerLevelDirectoryEntity
<input type="checkbox"/>	0004	1430	DirectoryRecordType
<input type="checkbox"/>	0004	1432	PrivateRecordUID
<input type="checkbox"/>	0004	1500	ReferencedFileID
<input type="checkbox"/>	0004	1504	MRDRDirectoryRecordOffset
<input type="checkbox"/>	0004	1510	ReferencedSOPClassUIDinFile
<input type="checkbox"/>	0004	1511	ReferencedSOPInstanceUIDinFile
<input type="checkbox"/>	0004	1512	ReferencedTransferSyntaxUIDinFile
<input type="checkbox"/>	0004	1600	NumberOfReferences
<input type="checkbox"/>	0008	0005	SpecificCharacterSet

青字はユーザーにより追加された項目です。

OK キャンセル

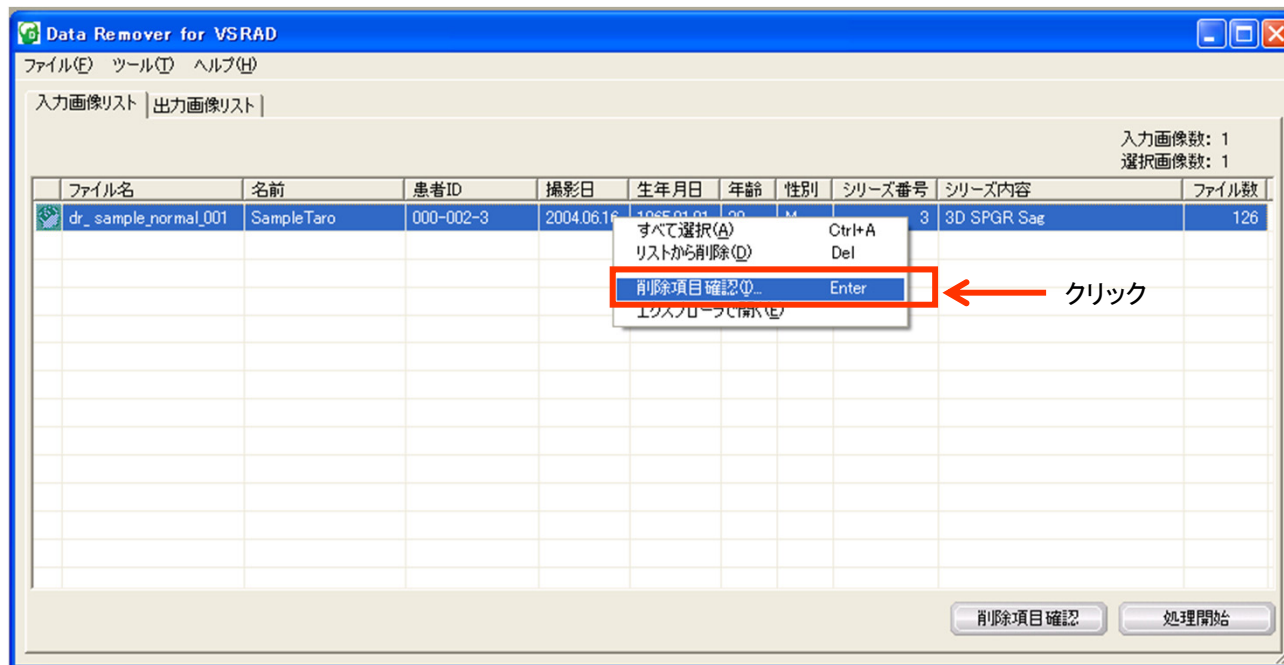
メーカー独自のタグを設定する場合は、ここで設定

DICOM辞書に掲載されているタグが全て表示される

2-5. Data Remover for VSRAD(削除項目指定方法2)

- 読み込んだシリーズを選択し、右クリックで表示される項目から、[削除項目確認] をクリックします。

① 読み込んだ画像を右クリックし、[削除項目確認] をクリックします。



2-5. Data Remover for VSRAD(削除項目指定方法2)

② [削除項目確認] をクリックすると、[削除項目確認] ウィンドウが開きます。

削除項目確認

ファイル: dr_sample_normal_001

※削除する項目にチェックを入れてください。

	グループ番号	要素番号	VR	項目名	値
<input type="checkbox"/>	0002	0000	UL	GroupLength	202
<input type="checkbox"/>	0002	0001	OB	FileMetaInformationV...	..
<input type="checkbox"/>	0002	0002	UI	MediaStorageSOPCla...	1.2840.10008.5.1.4.1.1.4.
<input type="checkbox"/>	0002	0003	UI	MediaStorageSOPInst...	1.2840.113619.2.5.1762927222.1926.1087341840.251.
<input type="checkbox"/>	0002	0010	UI	TransferSyntaxUID	1.2840.10008.1.2.1.
<input type="checkbox"/>	0002	0012	UI	ImplementationClass...	1.2840.113619.6.79.
<input type="checkbox"/>	0002	0013	SH	ImplementationVersio...	AW4_0_05_2_sol7
<input type="checkbox"/>	0002	0016	AE	SourceApplicationEnti...	MRS1_OC0
<input type="checkbox"/>	0008	0000	UL		436
<input type="checkbox"/>	0008	0005	CS	SpecificCharacterSet	ISO_IR 100
<input type="checkbox"/>	0008	0008	CS	ImageType	ORIGINAL#PRIMARY#OTHER
<input type="checkbox"/>	0008	0016	UI	SOPClassUID	1.2840.10008.5.1.4.1.1.4.
<input type="checkbox"/>	0008	0018	UI	SOPInstanceUID	1.2840.113619.2.5.1762927222.1926.1087341840.251.
<input checked="" type="checkbox"/>	0008	0020	DA	StudyDate	20040616
<input type="checkbox"/>	0008	0021	DA	SeriesDate	20040616
<input type="checkbox"/>	0008	0022	DA	AcquisitionDate	20040616
<input type="checkbox"/>	0008	0023	DA	ContentDate	20040616
<input type="checkbox"/>	0008	0030	TM	StudyTime	150631
<input type="checkbox"/>	0008	0031	TM	SeriesTime	150846
<input type="checkbox"/>	0008	0032	TM	AcquisitionTime	150846
<input type="checkbox"/>	0008	0033	TM	ContentTime	150846
<input checked="" type="checkbox"/>	0008	0050	SH	AccessionNumber	
<input type="checkbox"/>	0008	0060	CS	Modality	MR
<input type="checkbox"/>	0008	0070	LO	Manufacturer	GE MEDICAL SYSTEMS
<input type="checkbox"/>	0008	0080	LO	InstitutionName	*****
<input type="checkbox"/>	0008	0090	PN	ReferringPhysiciansN...	
<input type="checkbox"/>	0008	1010	SH	StationName	MRS1_OC0
<input type="checkbox"/>	0008	1030	LO	StudyDescription	SAS BRAIN TEST
<input type="checkbox"/>	0008	103e	LO	SeriesDescription	3D SPGR Sag

テキスト形式で保存

入力画像リストの全ての画像に、同一の削除項目を反映する

削除項目設定に反映

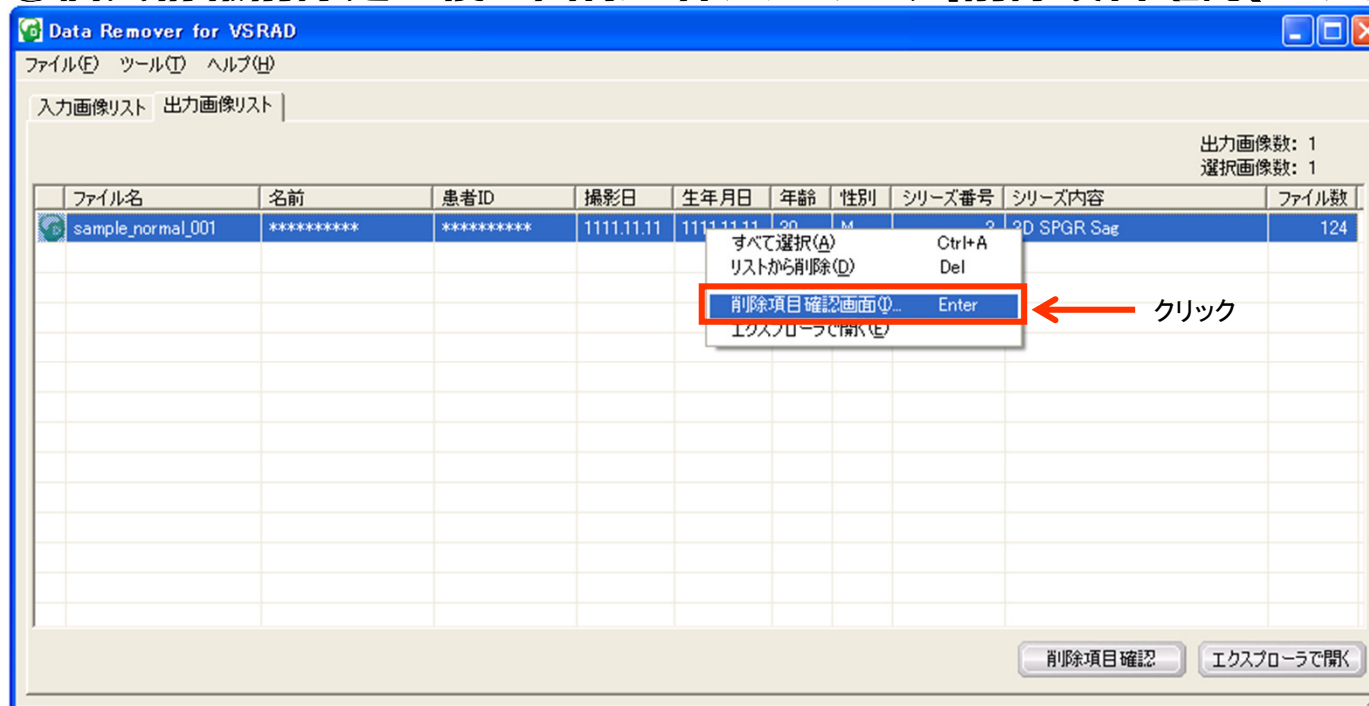
OK キャンセル

選択したシリーズに含まれるDICOM
タグが全て表示される
※オレンジで塗りつぶされている項目
が、削除設定されている項目

2-6. Data Remover for VSRAD(削除確認方法)

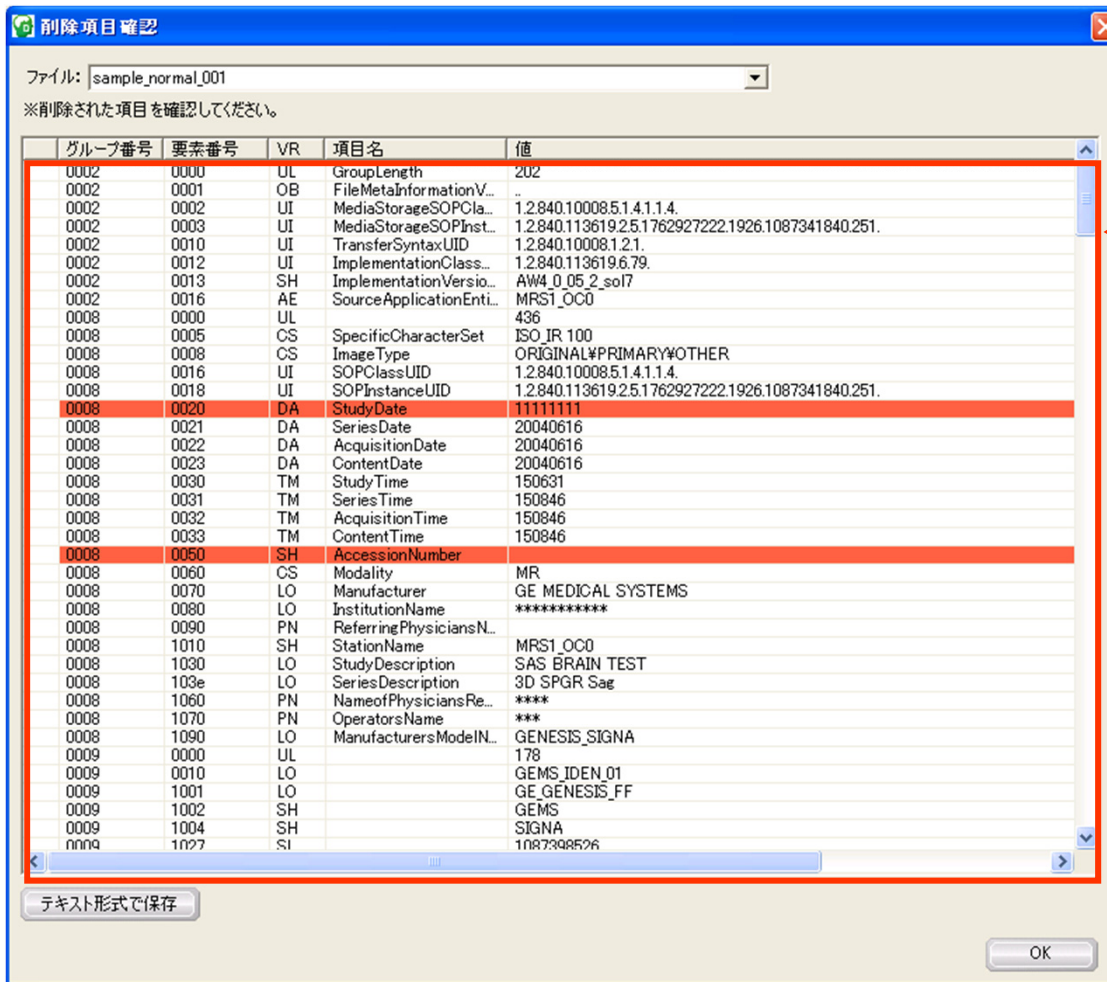
- DataRemoverで削除処理が終了すると、【出力画像リスト】タブに削除された画像リストが表示され、削除項目の確認が行えます。

①個人情報削除処理後の画像を右クリックし、【削除項目確認】をクリックします。



2-6. Data Remover for VSRAD(削除確認方法)

② [削除項目確認] をクリックすると、[削除項目確認] ウィンドウが開きます。



削除処理を行ったファイルのDICOMタグが全て表示され、削除設定した項目の個人情報が削除されていることを確認できます。
※オレンジで塗りつぶされている項目が、削除設定した項目

2-7. Data Remover for VSRAD(削除結果確認)

- DataRemoverで削除処理が終了すると、削除処理を行う前のファイルは元の状態で残り、新たに個人情報削除されたファイルが作成されます。

個人情報削除処理後の画像を右クリックし、[エクスプローラで開く]をクリックし、確認することができます。

出力画像数: 1
選択画像数: 1

ファイル名	名前	患者ID	撮影日	生年月日	年齢	性別	シリーズ番号	シリーズ内容	ファイル数
sample_normal_001	*****	*****	1111.11.11	1111.11.11	80	M	3	3D SPQR Sag	124

エクスプローラで開く(E) ← クリック

個人情報削除されたファイル一覧 (anonymousフォルダの中身。次ページで説明。)が表示されます

2-8. 個人情報削除されたファイルの所在

処理を行うと、ワークフォルダに「anonymous」フォルダが作成されます。

※「anonymous」フォルダが既に存在する場合や複数シリーズを処理した場合は、「anonymous (2)」、「anonymous (3)」といった、番号が付加されたフォルダが作成されます。

<処理前>



<処理後>



個人情報削除前のDICOMファイル

2-9. VSRADにおける削除確認方法

- DataRemoverで削除処理を行ったファイルをVSRADで読み込んだ際に、個人情報が表示されていないことを確認します。

画像統計処理

前処理

- 画像確認
- ファイル変換

画像統計処理

- ボクセル等大化
- 灰白質抽出
- 平滑化
- 解剖学的標準化
- 平滑化
- 健常者との比較

入力画像数: 1
選択画像数: 1

画像リスト

必須項目	状態	ファイル名	名前	患者ID	撮影日	生年月日	年齢	性別	シリーズ番号	シリーズ内容	ファイル数	処理経過
未入力		001	*****	*****	1111.11.11	1111.11.11	39	M	3	3D SPGR Sag	124	

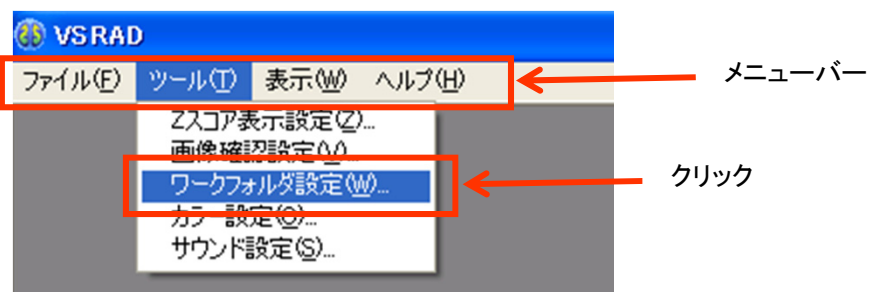
削除設定した項目が、「*」や「11...」など、個人が特定できない形で表示される。
また、ファイル名も連番に変更される(元のファイル名を残すことも可能)。

画像確認... 処理開始

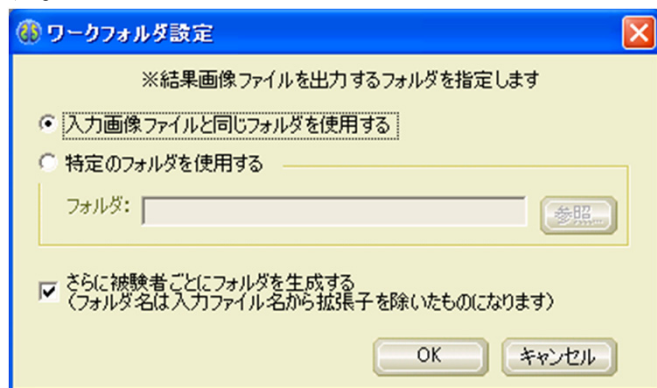
3. 処理結果ファイルの所在確認方法と個人情報削除方法について

1. VSRADで処理を行います。処理を行う際に、処理結果を出力するフォルダを指定できます。

①メニューバーの [ツール] → [ワークフォルダ設定] を選択してください。



②下記のようなワークフォルダ設定ウィンドウが表示されますので、処理結果を出力するフォルダ(以下ワークフォルダ)を指定します。初期設定は入力画像と同じフォルダに設定しております。



3. 処理結果ファイルの所在確認方法と個人情報削除方法について

2. VSRADで処理を行うと、1-②で設定したワークフォルダに、処理結果が出力されたファイルが入っているフォルダが作成されます

<処理前>



<処理後>



処理結果ファイルが入っているフォルダ
※入力画像のDICOMヘッダーに含まれる
撮像日・患者ID・名前がフォルダ名になります。
同じファイルを何度も処理した場合、フォルダ名
の末尾に(1)、(2)と番号が割り振られます。

入力画像(DICOM)ファイル
※ このファイルには個人情報が含まれています。

3. 処理結果ファイルの所在確認方法と個人情報削除方法について

3. 2で作成された処理結果フォルダを確認します。処理結果フォルダ内で拡張子が「xml」となっているものには個人情報が含まれております。また、plusの場合は、被検者脳表示のZスコアマップにも個人情報が含まれます。

<plus>

名前	サイズ	種類	更新日時
sample_normal_001_hdr	1 KB	MRHdr	2008/10/30 10:41
sample_normal_001_img	15,872 KB	MRImg	2008/10/30 10:40
sample_normal_001.xml	2 KB	XML ドキュメント	2008/10/30 10:41
i_sample_normal_001_hdr	1 KB	MRHdr	2008/10/30 10:41
i_sample_normal_001_img	10,139 KB	MRImg	2008/10/30 10:41
i_sample_normal_001.xml	3 KB	XML ドキュメント	2008/10/30 10:41
i_sample_normal_001_sn	25 KB	Microsoft Office Access テ...	2008/10/30 10:41
li_sample_normal_001_hdr	1 KB	MRHdr	2008/10/30 10:41
li_sample_normal_001_img	8,061 KB	MRImg	2008/10/30 10:41
li_sample_normal_001.xml	4 KB	XML ドキュメント	2008/10/30 10:41
li_sample_normal_001_seg1_hdr	1 KB	MRHdr	2008/10/30 10:50
li_sample_normal_001_seg1_img	4,031 KB	MRImg	2008/10/30 10:50
li_sample_normal_001_seg1.xml	5 KB	XML ドキュメント	2008/10/30 10:50
li_sample_normal_001_seg2_hdr	1 KB	MRHdr	2008/10/30 10:50
li_sample_normal_001_seg2_img	4,031 KB	MRImg	2008/10/30 10:50
li_sample_normal_001_seg2.xml	5 KB	XML ドキュメント	2008/10/30 10:50
li_sample_normal_001_seg3_hdr	1 KB	MRHdr	2008/10/30 10:50
li_sample_normal_001_seg3_img	4,031 KB	MRImg	2008/10/30 10:50
li_sample_normal_001_seg3.xml	5 KB	XML ドキュメント	2008/10/30 10:50
ProcessLog_sample_normal_001.txt	8 KB	テキスト文書(txt)	2008/10/30 10:53
sli_sample_normal_001_seg1_hdr	1 KB	MRHdr	2008/10/30 10:50
sli_sample_normal_001_seg1_img	4,031 KB	MRImg	2008/10/30 10:50
sli_sample_normal_001_seg1.xml	6 KB	XML ドキュメント	2008/10/30 10:50
sli_sample_normal_001_seg1_sn	34 KB	Microsoft Office Access テ...	2008/10/30 10:51
swsli_sample_normal_001_seg1_hdr	1 KB	MRHdr	2008/10/30 10:52
swsli_sample_normal_001_seg1_img	506 KB	MRImg	2008/10/30 10:52
swsli_sample_normal_001_seg1.xml	7 KB	XML ドキュメント	2008/10/30 10:52
swsli_sample_normal_001_seg1_Z.csv	1 KB	Microsoft Office Excel CSV...	2008/10/30 10:52
swsli_sample_normal_001_seg1_Z_hdr	1 KB	MRHdr	2008/10/30 10:52
swsli_sample_normal_001_seg1_Z_img	1,012 KB	MRImg	2008/10/30 10:52
swsli_sample_normal_001_seg1_Z.xml	9 KB	XML ドキュメント	2008/10/30 10:52
swsli_sample_normal_001_seg1_Z_ulw_hdr	1 KB	MRHdr	2008/10/30 10:53
swsli_sample_normal_001_seg1_Z_ulw_img	10,139 KB	MRImg	2008/10/30 10:53
swsli_sample_normal_001_seg1_Z_ulw.xml	11 KB	XML ドキュメント	2008/10/30 10:53
wsl_sample_normal_001_seg1_hdr	1 KB	MRHdr	2008/10/30 10:52
wsl_sample_normal_001_seg1_img	506 KB	MRImg	2008/10/30 10:52
wsl_sample_normal_001_seg1.xml	7 KB	XML ドキュメント	2008/10/30 10:52

ここで、「XMLドキュメント」となっているものに個人情報が含まれています。

ファイル名の最後に「_u」(この例では「_ulw」)が含まれるファイルが被検者脳表示のZスコアマップになります。被検者脳表示のZスコアマップファイルには個人情報が含まれますのでお送りいただかないよう、ご注意ください。

3. 処理結果ファイルの所在確認方法と個人情報削除方法について

<advance>

名前	サイズ	種類	更新日時 ▲
__swsi_sample_patient_001.nii	17,921 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:24
__swsi_sample_patient_001.xml	3 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:24
i__swsi_sample_patient_001.nii	19,320 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:25
i__swsi_sample_patient_001.xml	4 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:25
i__swsi_sample_patient_001_sn	12 KB	Microsoft Office Ac...	2011/11/03 12:25
li__swsi_sample_patient_001.nii	8,061 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:25
li__swsi_sample_patient_001.xml	5 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:25
hli__swsi_sample_patient_001.nii	8,061 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:25
hli__swsi_sample_patient_001.xml	8 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:25
hli__swsi_sample_patient_001_seg_inv_sn	37 KB	Microsoft Office Ac...	2011/11/03 12:32
hli__swsi_sample_patient_001_seg_sn	57 KB	Microsoft Office Ac...	2011/11/03 12:32
c1hli__swsi_sample_patient_001.nii	4,031 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:33
c1hli__swsi_sample_patient_001.xml	9 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:33
c2hli__swsi_sample_patient_001.nii	4,031 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:33
c2hli__swsi_sample_patient_001.xml	9 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:33
c3hli__swsi_sample_patient_001.nii	4,031 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:33
c3hli__swsi_sample_patient_001.xml	9 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:33
rc1hli__swsi_sample_patient_001.nii	882 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:42
rc1hli__swsi_sample_patient_001.xml	13 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:42
rc2hli__swsi_sample_patient_001.nii	882 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:42
rc2hli__swsi_sample_patient_001.xml	13 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:42
smwvc1hli__swsi_sample_patient_001.nii	2,024 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:42
smwvc1hli__swsi_sample_patient_001.xml	13 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:42
smwvc2hli__swsi_sample_patient_001.nii	2,024 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:42
smwvc2hli__swsi_sample_patient_001.xml	13 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:42
zasmwvc1hli__swsi_sample_patient_001.nii	1,012 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:43
zasmwvc1hli__swsi_sample_patient_001.xml	17 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:43
zasmwvc2hli__swsi_sample_patient_001.nii	1,012 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:43
zasmwvc2hli__swsi_sample_patient_001.xml	17 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:43
zrsmwvc1hli__swsi_sample_patient_001.nii	1,012 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:43
zrsmwvc1hli__swsi_sample_patient_001.xml	17 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:43
zrsmwvc2hli__swsi_sample_patient_001.nii	1,012 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:43
zrsmwvc2hli__swsi_sample_patient_001.xml	17 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:43
zrsmwvc1hli__swsi_sample_patient_001.csv	1 KB	Microsoft Excel CS...	2011/11/03 12:43
bzasmwvc1hli__swsi_sample_patient_001.nii	19,320 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:45
bzasmwvc1hli__swsi_sample_patient_001.xml	19 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:45
bzasmwvc2hli__swsi_sample_patient_001.nii	19,320 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:45
bzasmwvc2hli__swsi_sample_patient_001.xml	19 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:45
bzrsmwvc1hli__swsi_sample_patient_001.nii	19,320 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:45
bzrsmwvc1hli__swsi_sample_patient_001.vsr	3 KB	VSR ファイル	2011/11/03 12:45
bzrsmwvc1hli__swsi_sample_patient_001.xml	19 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:45
bzrsmwvc1hli__swsi_sample_patient_001_report.xml	1 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:45
bzrsmwvc2hli__swsi_sample_patient_001.nii	19,320 KB	NII ファイル	2011/11/03 12:45
bzrsmwvc2hli__swsi_sample_patient_001.xml	19 KB	XML ドキュメント	2011/11/03 12:45

ここで、「XMLドキュメント」となっているものに個人情報が含まれています。